

バップフォーレディ[®]

解説書

お客様向け解説書について

お客様向け解説書は、服用される皆様や家族の方などに、お薬の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、このお薬を服用する時に特に知っていただきたいことを、わかりやすく記載しています。

服用したお薬による副作用と考えられる場合には、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、p10に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。



目次 Contents

1.	このお薬の効果は？	2
	・尿意切迫感とは？	
	・頻尿とは？	
	・尿もれとは？	
2.	このお薬を使う前に 確認すべきことは？	3
3.	このお薬の使い方は？	4
4.	このお薬の服用中に 気をつけなければいけないことは？ ...	5
5.	このお薬の形は？	7
6.	このお薬に含まれているのは？	7
7.	その他	7
8.	気をつけてほしいこと	8
	・日常生活で注意する点	
9.	Q & A	9
10.	お問い合わせ先	10



1. このお薬の効果は？

このお薬は、医療用医薬品で使用されているプロピペリン塩酸塩を一般用医薬品にスイッチし、薬局でも購入することが可能となったOTC薬です。

このお薬は、**尿意切迫感(急に尿がしたいとの我慢し難い訴え)**、**尿意切迫感を伴う頻尿(尿の回数が多い)**・**尿もれを改善**します。

◆尿意切迫感とは

尿意切迫感とは、急に起こる抑えきれないような強い尿意をいいます。
言い換えると、急におしっこがしたくなり、もれそうになる感じです。



◆頻尿とは

「トイレが近い、トイレに行く回数が多い」という症状をいいます。
一般的には、朝起きてから就寝までの排尿回数が8回以上の場合を頻尿といいます。
また、就寝後、排尿のために1回以上トイレに起きなければならぬ症状を夜間頻尿といいます。



◆尿もれとは

自分の意思とは関係なく尿がもれてしまうことをいいます。



これらの症状は、過活動膀胱症候群で見られます。

また、膀胱炎などの尿路感染症、尿路結石、がんなどの他の疾患でも起こることがあるため、次のページに記載されていることをご確認ください。

2. このお薬を使う前に 確認すべきことは？

◆次の人は、このお薬を服用することができません。

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (2) 男性 (3) 70歳以上の女性 (4) 15歳未満の小児
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (6) 次の症状のある人
 - ・排尿困難、尿閉（尿意があるのに排尿しづらい、できない状態）
 - ・血尿、排尿痛、膀胱痛
- (7) 医療機関にて次の診断を受けた人
 - ・胃アトニー（胃下垂に伴う胃のはたらきの低下）、腸アトニー（腸の運動低下）
 - ・幽門・腸管の閉塞
 - ・パーキンソン病、脳血管障害（脳梗塞、脳出血等）
 - ・緑内障、認知症、重症筋無力症、重篤な心疾患

◆授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。

◆長期連用しないでください。

◆次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人 (2) 高齢者（65歳以上）
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (4) 次の症状のある人
 - ・頻尿や尿もれの症状が急性（発症後1ヵ月以内）
 - ・夜間頻尿のみで日中には頻尿がない人
- (5) 不整脈、肝機能障害、腎障害、潰瘍性大腸炎、甲状腺機能亢進症の診断を受けた人
- (6) 排尿困難、尿閉、血尿、排尿痛、膀胱痛の症状を起こしたことがある人
（現在も症状がある人は服用できません）
- (7) 子宮癌、直腸癌などの骨盤内手術を受けたことがある人

このお薬が服用できるかどうかを
「（初回購入用）セルフチェックシート」で確認してください。

3. このお薬の使い方は？

◆服用量と服用回数

成人女性（15歳以上70歳未満）は、1回1錠を1日1回食後に服用してください。

◆服用する時の注意点

- ・用法・用量を厳守してください。
- ・毎回同じ時間帯に服用してください。

◆錠剤の取り出し方

錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります）。

〈錠剤の取り出し図〉



4. このお薬の服用中に 気をつけなければならないことは？

- ◆このお薬を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する胃腸薬、乗物酔い薬、鼻炎用内服薬、かぜ薬

このお薬は抗コリン作用を有していますので、一緒に服用しては
いけないお薬があります。

- ◆服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

眠気、目のかすみ、異常なまぶしさなどの症状があらわれることが
あります。

- ◆服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるの
で、直ちに服用を中止し、お薬に添付されている説明文書を持って
医師又は薬剤師に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、じんましん
消化器	食欲不振、吐き気・嘔吐、腹痛、消化不良、口内炎
精神 神経系	頭痛、めまい、脱力感、しびれ、足がすくむ、歩幅がせまくなる、 手足の震え、意識の低下、見当識障害
循環器	動悸、胸の苦しさ、血圧上昇、脈のみだれ
泌尿器	排尿困難、残尿感
その他	舌のもつれ、舌の痛み、のどの痛み、しわがれ声、味覚異常、痰のからみ、 腰痛、目のかわき、異常なまぶしさ、むくみ、からだがだるい

◆服用後、まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、お薬に添付されている説明文書を持って医師に相談してください。

症状の名称	症状
尿 閉 <small>にょう へい</small>	尿意があるのに排尿できない状態で、痛みを伴う。
幻覚、せん妄	実際にはないものが存在するように感じる、注意力、認識力、認知機能の低下等があらわれる。
急性緑内障発作	急激な吐き気、頭痛を伴う眼の痛み、目がみにくいなどがあらわれる。
麻痺性イレウス (腸閉塞様症状)	激しい腹痛、ガス排出(おなら)の停止、嘔吐、腹部膨満感を伴う著しい便秘があらわれる。
横紋筋融解症 <small>おうもんきんゆうかいしょう</small>	手足・肩・腰などの筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿などがあらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢などがあらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。
血小板減少	血液中の成分である血小板の数が減ることにより、鼻血、歯ぐきからの出血、青あざなどの出血症状があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤などが持続したり、急激に悪化する。
QT延長、心室性頻拍	めまい、動悸、胸が痛む、心拍数の増加、意識がなくなるなどの症状があらわれる。

◆服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、お薬に添付されている説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
口のかわき、便秘、下痢、眠気、目のかすみ、一時的な物忘れ

◆2週間服用しても症状がよくなりない場合は服用を中止し、お薬に添付されている説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

5. このお薬の形は？

形状：扁平球状フィルムコーティング錠

直径：7.1mm

色：白色

6. このお薬に含まれているのは？

有効成分（1錠中）：プロピペリン塩酸塩 10mg

添加物：乳糖水和物、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、カルメロースCa、ヒプロメロース、タルク、マクロゴール6000、酸化チタン、ステアリン酸Mg、カルナウバロウ

7. その他

◆このお薬の保管方法

- ・直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- ・小児の手の届かない所に保管してください。

◆取扱い上の注意点

- ・他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わったりします）。
- ・使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。使用期限は外箱に記載しています。



8. 気をつけてほしいこと

- ◆このお薬は1週間ごとにご購入ください。
- ◆再購入時には「(継続購入用)セルフチェックシート」を記載し、薬局の薬剤師さんに記載済みのチェックシートで継続服用の適格性を確認して貰ってください。
- ◆服用後、何か気になることがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。
- ◆2週間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、お薬に添付されている説明資料を持って医師又は薬剤師に相談してください。

1ヵ月以上服用を希望される場合は、一度泌尿器科等の専門医を受診してください。

日常生活で注意する点

水分のとり方

トイレが近かったり、もれたりすると水分を控えて飲まないようにする方がいますが、水分は適度に摂るようにしましょう。ただし、摂りすぎにも注意してください。環境や状況により必要水分量は変わりますが、目安は一日コップ5杯～8杯程度です。

もしコーヒーやお茶などで特にトイレが近くなるようであれば、ご自分にとってあまり刺激のない飲み物を摂るようにしましょう。

体 重

肥満は膀胱を圧迫したり、骨盤底筋を締めにくくする原因となります。

「自分の体重－(身長－100センチ)＝余分な体重」と考えて、その分を落としましょう。

少しずつ運動しながら、よく噛んで食べることで食べる量を減らしていきましょう。バランスのよい食事を心がけながら、時間をかけてゆっくり体重を落としましょう。

9. Q&A

Q1. どうして男性は服用できないのですか？

A1. 男性の方は安全性を考慮して、泌尿器科等の専門医の指導のもとで服用する必要がありますので、服用できません。

Q2. どうして70歳以上の方は服用してはいけないのですか？

A2. 高齢者の方、特に70歳以上の方は安全性を考慮すると、医師の指導のもとで治療する必要があります。よって、70歳以上の方はこのお薬を服用できません。

Q3. 飲み忘れたときはどうすればいいですか？

A3. 服用し忘れた分を翌日にまとめて服用しないでください。1日1回1錠を守ってください。

Q4. なぜ、服用継続時に（継続購入用）セルフチェックシートをつける必要があるのですか？

A4. このお薬を継続して服用する際には、安全性は問題ないか、このお薬があなたの症状に適したお薬かどうかを確認する必要があります。

再購入時には、薬剤師さんに記載済みの「（継続購入用）セルフチェックシート」をお見せください。

Q5. なぜ、長期間服用してはいけないのですか？

A5. このお薬を長期に服用するにあたっては、このお薬の副作用の確認や生活改善等の指導のため、泌尿器科等の専門医を受診することが必要です。



10. このお薬についてのお問い合わせ先は？

- ◆ 症状、服用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、薬剤師にお尋ねください。
- ◆ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

大鵬薬品工業株式会社 お客様相談室

〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27

電話番号 0120-4527-66

受付時間 9:00-12:00、13:00-17:00(土日祝、弊社休業日を除く)

- ◆ 医薬品を適正に使用したにも関わらず副作用による一定の健康被害が生じた場合に、医療費などの給付を行い、これにより被害者の救済を図ろうという「医薬品副作用被害救済制度」があります。
この制度に関するお問い合わせは下記にお願いします。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話番号 0120-149-931(フリーダイヤル)

